

対話式バイブルスタディのやり方

(ゲームとしてではなく、カードを使った学び)

1.) 創世記の女性たち

女性たちのカードの中から、創世記に登場する女性たちを探してもらいます。11人がいます。それらの女性たちが誰で、どんな事をしたかなど、質問し、また必要に応じて教えて下さい。年代順に並べたり、またイエス様の系図に入っている女性は誰であるかという事も学びに入れましょう。

2.) ダビデの生涯に関わる女性たち

聖書に一番多く出てくる女性60人の中で、9~10人の女性たちは、ダビデ王と深く関わりを持っていた事をリーダーは導入として示して下さい。それらのほとんどの女性たちは第1、第2サムエル記に登場していますが、ルツ(#8)はそれより早く登場しますし、ダビデの母(#51)が言及されているのは、ほとんど詩篇の中です。

3.) 新約聖書の女性たち

プレーヤーたちに、女性たちのカードの中から、新約聖書に登場する女性たちを探してもらいます。11人がいます。それらの女性たちの事を個人的にだけでなく、他の女性たちと比較して共通点や相違点を学んで下さい。例えば、ヘロディアを除く他の10人は、皆信仰を持つ者でした。

4.) ヘブル書11章の女性たち

旧約聖書の4人の中心的な女性たちは、ヘブル書11章に言及されています。サラとラハブの2人は名前が出ていて、彼女たちの信仰について考える事は良い学びです。モーセの母(ヨケベデ#50)は名前は言及されていませんが、「モーセの両親」(23節)として出ています。ファラオの娘(#51)は言及されていますが(24節)、名前は出ていません。

5.) 名前は出ていないが、重要な女性たち

様々な理由で、このリストの60人中18人は、聖書に名前が出ています。その18人を見つけた後、なぜ彼女たちの名前が出ていないのか話し合みましょう。理由は、その女性を守るためであったかもしれないし、ある時はその女性よりも、神様ご自身やそこで扱われている大事なテーマに焦点を当てるために、あえて名前を出していないのかもしれませんが。

聖書に最も多く出てくる女性 トップ50⁺¹⁰

50⁺¹⁰ top
women
in the Bible

カードの使い方

はじめに...

1.) さあ、やってみましょう!

リーダーもプレーヤーも、この教材を使う前に、何でも知っている必要はありません。リストと聖書が答えと助けになります。やりながら皆で学んでいきましょう。

2.) グループのメンバー

グループの中に誰がいるかを把握し、聖書をまだ良く知らない人がいれば、その人たちの事に配慮しましょう。適したゲームを選び、またチームに分けてしてもいいでしょう。ゲームによっては難しいカードを前もって除いておいたら良いかもしれません。

3.) ゲームの目的

ゲームをし、得点を競う中で、リーダーは常に聖書の人物についての学びに焦点を合わせましょう。ゲームは楽しいと同時に、良い学び、また恵みの時となるように心がけましょう。

4.) 伝道にも

罪からの救いと救い主の必要は、アダムとエバ(#10)から先ずっと聖書に出てくる人物の中にはっきりと見られます。

Jon F. Mahar jmahar@fim.org

© 2020 Hakusan City, Ishikawa, Japan and Alexander, Maine, U.S.A.

カードゲームの仕方

1.) カルタ

カードを表向きにしてテーブルの上に広げる。リーダーは必要に応じて、前もってそれぞれの人物について教える。リーダーが女性の名前、またはヒントを言う(例:「サラ!」または「創世記!」等)。わかった人はカルタの要領でカードを取る。取った人には、その人物について何か1つ(または2つ以上)言ってもらっても良い。

2.) 誰が上?

プレイヤーは順番に真ん中に積み上げられたカードを上から一枚ずつ取って裏返す(またはリーダーが一枚ずつ配っても良い)。一巡した後、その中でランキングが一番高い女性を引いた人が勝ち。その回の全員のカードをもらう事ができる。(勝った人は、もらうカードの人物について何か1つ言わなければもらえない、などのルールを加えても良い。)リーダーはそれぞれの女性がなぜランキングが高い(低い)か、言えるようにしておこう。

3.) 私は誰でしょう?

一人の人が引いたカードの女性が誰かを当てるゲーム。できるだけ少ない質問で当てた人の得点が高くなる。質問はYesかNoで答えられる質問のみとする。箱に入っている2つのリストに様々なカテゴリーがある。(例:「あなたは新約聖書の人ですか?」「あなたはとても悪い人ですか?」「あなたは王様ですか?」など)このゲームは大人数のグループでもできる。リストが必要になるが、そのコピーについてはプリントを参照の事。

4.) 良い人?悪い人?ゲーム

プレイヤーは順番が来るごとに、カードをめくり、そのカードの女性が悪い女性ならカードを捨てる。良い女性だったら、そのまま自分のものになり、1ポイント。それぞれのカードの女性について簡単に復習する。例えばリベカ(#5)のような、判定の難しい女性もいる。そのような場合は、ジャンケンなどで決めても良い

5.) 好き?嫌い?

プレイヤーは順番にカードを引き、その女性について好きか嫌いか、またその理由を言う。リーダーは良い答えに対して、ボーナスポイントを与える事ができる。初心者は、知らない女性のカードが当たった時は、知っている女性が出てくるまで引いて良い事にする。中級以上の人たちには、シンプル一文の答えでなく、説明を加えてもらうようにする。

6.) 誰が先?

プレイヤーは、中央に重ねたカードの山から(あるいはテーブルに広げたカードから)2枚かそれ以上のカードを引き、それを年代順に並べる。正しく並べられたら、自分のカードになる。初心者が多い場合は、リーダーは前もって、良く知られている女性のカードを選んでおく。とても良い復習ゲーム。

7.) つながりゲーム

プレイヤーは順番が来るごとに、1枚か2枚のカードをめくり、場に出ている女性も合わせて、何かの関係、つながりがあるかどうかを考える。2枚のカードを引いて、それが同じ家族の一員なら簡単だが、他に例えば、「マリアとサラの子どもはどちらも有名」のような関係でも良い。つながりが見られなかったカードは、テーブルの上に開いたままで置かれる。

8.) 私は何番目?

聖書に出てくる女性のランキング(トップ55の何番目か)を当てるゲーム。プラスマイナス5番の誤差なら、正解とする。もし正確な順位を当てた場合には、そのプレイヤーはもう一度プレイする事ができる。リーダーはゲームが始まる前に、ランキングのリストを見て、基本的な事を教えることが良い。なぜ意外な誰かがランキングの上位にいるか、または意外な女性がランキングの下位なのかコメントするのも良い。

スペシャル・マッチングゲーム(2セットのカードが必要)

ゲームの種類と人数により、使うカードの枚数を決める(難しい人物のカードを除いてもよい)。人物のカードが2枚ずつあるかどうか、確かめる事を忘れないように。

9.) マッチングゲーム(テーブルで)

カードをテーブルの上に裏返しに置く。プレイヤーは順番に2枚(かそれ以上)引き、2枚の同じカードを引けば、そのカードをもらえる。引いた人はその人物について説明する。(ルールを決めて、その人について3つの事を言う、等。)

10.) 自己紹介マッチングゲーム(大勢のグループ/キャンプなどで)

プレイヤーはそれぞれ1枚カードをもらう。その人物になったつもりで、立って歩き回り、同じ人物のカードを持っている人を探す。(例:「こんにちは。私はサラです。あなたは?」英語でも良い。「Hi, I'm Sarah. What's your name?」)同じ人物を探し当てたら、その人について話し合う。